

## 営業再開のための資金調達、事業形態についての支援

住所	宮城県亶理郡山元町浅生原字新館前 92-3	資本金	-
代表者	引地 雅之	従業員数	4名
創業年	-	売上高	-
業種	飲食業		
TEL	0223-23-1564	URL	<a href="http://kin8.on.omisenomikata.jp/">http://kin8.on.omisenomikata.jp/</a>

## 事業概要(被災前)

- ・山元町地域では寿司店が少なく、地域の人気店として常連客も多い商売を行っていた。
- ・夜は宴会客も多数来店し、地域のにぎわい創出の一旦を担っていた。
- ・東日本大震災の津波により店舗が被災。平成25年まで事業中断していたが、グループ補助金活用によって店舗復旧した。

## 被災概要

- ・津波により、山元町坂本で営業していた寿司店が全壊。
- ・寿司ネタ等の在庫もすべて使い物にならず、事業を休止した。
- ・店内の業務用冷蔵庫、製氷機等の設備も流出し使用不可。



## 復興に向けた状況や課題

- ・旧店舗とは異なる土地に店舗を設けて、営業再開を目指すこととしている。
- ・資金手当として、機構の支援等によりグループ補助金が既に採択されているが、復旧のための投資額が大きくなることから、自己資金負担分についての資金手当が厳しい状況にある。
- ・前年までは消費税の免税業者であり、個人事業者としての課税業者に変更するための届出期限を過ぎたため、復旧投資に係わる消費税の還付がなされない。
- ・現時点で法人化すれば課税法人として消費税の還付がなされるため、法人成りについてのアドバイスを求めている。



## 支援テーマと内容

1. 支援テーマ名: 寿司店営業再開に向けての資金調達の支援ほか。
2. 支援テーマ目標
  - ①高度化スキーム融資の申請(事業計画、利益計画の策定)支援。
  - ②法人成りについて、メリット、デメリットのアドバイス実施。
3. 支援期間: 2012年11月 ~ 2014年12月

3年ぶりに営業再開した金八寿司



地域の重要な飲食店として連日にぎわいを見せている

支援の成果

- ・グループ補助金の採択を受ける事が決定し、無事に店舗再建の為に足掛かりを得た。
- ・自己資金については新店舗オープン(平成26年5月)までに、高度化スキーム融資の申し込みを行い無利子融資を受ける事が決定。
- ・法人成りについて、手順・手続き、補助金との絡み、負担額や管理体制面の変化など、メリット、デメリットについて説明し、その結果個人事業にて継続する事を決定。
- ・再開した2014年5月29日からの平均売上高は約8万円/日。最近ではランチ営業も開始。地域の重要な飲食店として連日にぎわいを見せている。

今後の事業展開

- ・現在の客層は復興の為に作業員が約半数となっている。3年後に復興工事がひと段落ついた頃には現在の客層がガラリと変わる可能性が高い為、それに向けた対策を考えていく。(地元住民の為にメニュー開発等)
- ・地元で宴会場等の受け皿が少ない事から、現在のキャパシティである約40名を将来的に増床し、より多くの宴会客の受け入れを可能にしていく。
- ・復旧を期に娘が経営に加わった事により、娘のITスキルを生かして震災復興支援アドバイザーの支援を受けながら、売上高、利益率、資金繰り等の計数管理を行い、経営の健全化を図っていく。

事業者からのコメント

被災した当初は、津波で何もかも失ってしまい、途方に暮れている状態でした。しばらくは夫婦で複数のアルバイトをして生活費を捻出していました。そんな中、グループ補助金の話をいただき、藁をもつかむ思いで申請する事といたしました。その際に申請支援のため来ていただいたのが震災復興支援アドバイザーとの出会いです。その後、つなぎ資金融資、公的無利子融資の支援等、多大なる支援をしていただき、無事復旧する事が出来ました。

震災復興支援アドバイザーの支援がなければここまでスムーズに復旧する事は出来なかったと思います。まだ課題は山ほどある状況ですが、事業を継続的に続けていくため、今後ともご支援の程よろしく願いいたします。



旬魚酒房 金八  
引地裕子氏(右)とその娘さん(左)

震災復興支援アドバイザーからのコメント

同社は、震災にて店舗、設備のすべてを失ってしまい、ゼロからの出発を余儀なくされた飲食店です。寿司職人であったご主人は職場を失った為、運転手等の仕事をして生計を立てる傍ら、寿司屋としての事業再開をあきらめることなく、見事復活を果たされました。アドバイザーとして、この事業再開について微力ながらお力添え出来たことは非常にうれしく思います。今後は再開した新生「金八」を被災前の店以上に魅力のある店にしていく事、財務状況を確実に把握しながら経営的にも持続的に成長していく事が必要になると考えます。その一助となるご支援を行う事が我々の使命だと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。



震災復興支援アドバイザー  
中小企業診断士 横尾徳仁